

事業所名

星の子木町

支援プログラム

作成日

2024年

11月

1日

法人（事業所）理念		障がいがあっても地域で普通の暮らしを								
支援方針		<p>①自立に向けて トイレや手洗い、荷物の出し入れ・管理、清掃など様々な日常生活動作の中で出来ることを積極的にやってもらうことで将来の自立につながるよう支援します。</p> <p>②経験を積む 学校や家庭とは違った環境で色々な事を楽しめる場所となれるようにします。意欲的に何かに取り組む機会を作れるよう、様々なジャンルの活動を提供します。</p> <p>③誰かと一緒に 他者との関わりを多く取り、社会性を伸ばせるよう支援します。参加が難しい時も職員が付き添い、無理のない範囲で誰かと関わりを持てるよう工夫します。</p>								
営業時間		8時	30分	から	17時	30分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	送迎時にはその日の食事量など変わったことがないかを確認し、通所時に身体チェックや健康観察、水筒の確認などを通じて健康状態の維持・改善に努めます。また、定時での排泄誘導、トイレトレーニング、身だしなみの確認等を行い、基本的な生活スキルの獲得と生活リズムの形成を図ります。								
	運動・感覚	運動に関しては、平日の活動で室内運動やダンスを設定し、月に1回土曜日に外部の体育館で身体を動かす機会を作っています。また、アイロンビーズや新聞紙遊び、点つなぎ・迷路、風船バレー等の活動を設定し、動作の基本的技能の向上と保有する感覚の活用を促しています。光や音等に敏感で活動に集中することが難しい場合は別室を準備して支援員と取り組む等、出来るだけ活動に取り組める様に環境作りを行っています。								
	認知・行動	保護者や学校からの伝達事項や日々の観察を通じてそれぞれの利用者の認知の特性を理解し、また、支援員間で共有していく事で個々の特性に合わせた対応が出来る様努めています。また、活動にブロック、水遊び、数字遊び等を取り入れ、的確な認知や行動につながるよう働きかけるとともに、他者との関わりの中で難しい事があれば必要に応じて支援員が間に入り、落ち着いてから一緒に振り返りを行う等、適切な行動が増える様サポートしています。								
	言語 コミュニケーション	普段は集団での活動を主とし、その中で安全に他者とのコミュニケーションを楽しみながら色々な経験を積めるよう見守り、必要に応じて支援員が気持ちを代弁したり、代わりの案を提案したり等円滑にコミュニケーションを図れるよう支援しています。また、意思表示の方法も様々なため、それぞれの利用者がどのような表現をするかを保護者からの情報や観察等から把握し、支援員間で共有しています。基本的な読み、書きに関しては活動でお勉強の時間を設け、それぞれのレベルに合わせたプリントに取り組める様にしています。								
	人間関係 社会性	まずは楽しく、精神的な負担が少なく過ごせるよう活動内容を検討し、環境設定を工夫しています。集団で活動を行う際は支援員も一緒に参加し、それぞれの関わりを尊重し見守りながら、適宜助言や提案を行う様にしています。また、活動準備から活動中、片付けにおいてそれぞれの利用者が出来ることをなるべくやってもらう事でそれぞれの能力を発揮し、役割をもって取り組む経験を積める様にしています。								
家族支援		対応方法などの個別の相談があった場合は日々の支援内容をもとに助言を行っています。			移行支援		学校との情報共有や併用先や移行先との情報共有を積極的に行っています。			
地域支援・地域連携		利用している相談支援事業所とはモニタリングを通じて定期的に連絡を取っています。その他必要があれば、子ども総合センターや療育センター、発達障害者支援センター等とも協力しています。			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策、虐待防止などの各種法定研修 ・北九州市社会福祉研修所、福祉・介護研修センターでの外部研修 ・月例会議での事例検討 			
主な行事等		星の子祭 月2回の調理活動 季節の行事								